

2016

SENA

セナで広がる。セナで繋がる。

SENA

<http://SenaBluetooth.jp/>



SENA

検索



<http://SenaBluetooth.jp/member/>

Jogdial倶楽部のご案内 — *About Jogdial CLUB* —

Jogdial倶楽部は、SENAインカム製品ユーザー様へのホームページです。
ご入会は、SENA正規販売店からご購入いただいた方に限られます。

ご入会方法など詳しい情報は、Sena Bluetooth Japan公式ホームページ (<http://senablueooth.jp/>) をご覧ください。
(備考) Jogdial倶楽部は、インターソリューションマーケティングによって運営されています。



安全に関するご注意

ご使用前に必ず「取扱説明書（ユーザーガイド）」をよくお読みの上、正しくお使いください。
水、湿気、湯気、ほこり、油煙等の多い場所に設置しないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

SenaBluetooth Japan

【日本総代理店】株式会社インターソリューションマーケティング

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-24-14 EXOS恵比寿ビル 5F

TEL : 03-5795-2685 FAX: 03-5795-2686

Mail: support@SenaBluetooth.jp

URL: <http://SenaBluetooth.jp/>

【製造元】Sena Technologies, Inc.

本製品の開発・製造はSena Technologies Inc.です。製品名、会社名は、各社の商標あるいは登録商標です。
製品仕様、製品価格は断りなく変更されることがありますので予めご了承ください。
本誌内容（全部または一部）の無断使用、転載、記載、複製、転用、加工を固くお断りします。

© インターソリューションマーケティング 2016
掲載記事及び写真協力：えい出版社 BikeJIN

カタログ番号 CAT-HEADSET-20160301

<http://SenaBluetooth.jp/>

20S

8人通話可能(同時)



20S
ユニバーサル型
(オープン向き/フルフェース向き)
シングル 価格 **33,400円**(税別)
デュアル 価格 **64,800円**(税別)

10シリーズ

4人通話可能(同時)



10S
(2016年春頃予定)
SBJ公式ホームページをご覧ください



インターコムカメラ内蔵
10C
シングル 価格 **49,800円**(税別)



特定ヘルメット専用※
10U
シングル 価格 **39,800円**(税別)
※SHOEI GT-Air専用、SHOEI Neotec専用、
Arai Full-face専用の3モデル
(ハンドルバーリモコン付)



SPH10
シングル 価格 **26,400円**(税別)



BT10
価格 **23,100円**(税別)



SMH10
ブーム型マイク(オープン向き)
シングル 価格 **23,400円**(税別)
デュアル 価格 **44,800円**(税別)
ケーブルマイクとケーブル付きブーム型マイク(フルフェース向き)
シングル 価格 **25,400円**(税別)
デュアル 価格 **48,800円**(税別)

在庫限り

5シリーズ

4人通話可能(切替)



SMH5
UNIVERSAL PACKAGE
ユニバーサルパッケージ
(ブーム型マイク、ケーブル型マイク同梱)
シングル 価格 **16,400円**(税別)
デュアル 価格 **30,800円**(税別)



SMH5-FM
UNIVERSAL PACKAGE
ユニバーサルパッケージ
(ブーム型マイク、ケーブル型マイク同梱)
シングル 価格 **18,800円**(税別)

3シリーズ

2人通話可能(自分と相手)



3S
ブーム型マイク(3S-B)
シングル 価格 **12,400円**(税別)



3S
ケーブル型マイク(3S-W)
シングル 価格 **13,400円**(税別)

アクセサリ



SR10
価格 **25,200円**(税別)



SM10
価格 **19,200円**(税別)



ハンドルバーリモコン
20S,10C,10U用
シングル 価格 **15,400円**(税別)



リストバンドリモコン
20S,10C,10U用
シングル 価格 **15,400円**(税別)

カメラ



PRISM TUBE
(2016年春頃予定)
SBJ公式ホームページをご覧ください



GP10
防水ハウジングなし 価格 **14,400円**(税別)
防水ハウジングあり 価格 **18,800円**(税別)



インターコムカメラ内蔵
10C
シングル 価格 **49,800円**(税別)



PRISM
価格 **55,400円**(税別)
未定

CONTENTS

1 … 製品一覧

20S

2 … 話すことがもっと楽しくなる新しい機能を使いこなそう！

4 … 専用機能でさらに快適なツーリングが可能

10C

6 … 10Cで絶景の記憶を残そう！

8 … 音声と動画の二刀流を楽々楽しむ！

10 … 走った記録を特別なモノに！

10U

12 … 10Uは外から「見えない」隠せるインターコム

14 … ヘルメット内にすべてを集約 手元のリモコンで簡単操作

ハンドルバーリモコン

16 … セナのインターコムをハンドルの手元で操れる

18 … 充電に気を遣わないスマートなりモコン

20 … どこで使うかあなたが決める ビッタリの1台を見つけよう！

24 … **SR10** ワイヤレスで新たなコミュニケーションツールを使いこなそう

26 … **SM10** 共有できれば楽しさ倍増

27 … 他社インターコムと話せて仲間が増える！

28 … モデル別機能一覧

(ご注意)

※ 本文は、2015年12月1日現在の内容になります。

※ 本文記載の製品仕様・価格は、2015年12月1日現在の内容になります。断りなく変更される場合がございます。

※ 最新の内容は、セナブルトゥースジャパン(SBJ)公式ホームページをご覧ください。

(ご注意) ※ 上記内容は、2016年2月20日現在の内容になります。 ※ 製品仕様・価格は、断りなく変更される場合がございます。 ※ 最新の内容は、セナブルトゥースジャパン(SBJ)公式ホームページをご覧ください。

話すことがもつと楽しくなる 新しい機能を使いこなそう！

話す、聴く、知る、というライダーの基本機能
セナインターコムはフラッグシップ20Sには
これらに加えても快適にインターコムが使える
画期的な新しい機能がいくつも搭載され
そんなソールを駆使してもっと会話を楽しもう

SENA 20S

価格:3万6072円(ソロ) 6万9984円(ペア)

最大通話人数:8人

同時通話:8人

通信距離:最大2km

「オーディオマルチタスク」機能をはじめ、最大通信距離2km、最大通話人数8人など、セナ・インターコム最高峰の機能・性能を備えたフラッグシップ機

単に話すだけではない 20SのPlusαの機能

走行中のライダーとパッセンジャーが、風切音やエンジン音といった周囲の騒音に遮られることなく話せるようにと生まれたのがインターコムだ。最初はケーブルでライダーとパッセンジャーがつながれていたが、Bluetoothウースという新しい無線通信技術を取り入れることで、一緒に走る仲間と通

話ができるトランシーバーとしての役割も担うソールへと大きく進化。一方、Bluetoothウースに対応したスマートフォンと接続することで、電話を受けたり、音楽を聴いたり、ヘッドフォンとしての役目も果たしている。

ここまでの機能であれば、今やどんなインターコムでも当たり前のものとなっている。しかしセナの20Sは、これらに加えて一歩進んだ独自の機能を搭載している。例えば8台の20Sを接続して8人が同時に話せる「グループインターコム」機能。8人で話せるという同時接続の数も20Sが誇るスペックではあるが、さらにこれをスマートフォンで管理して、ボタンひとつで8人を一度に接続できるという、スマートかつ簡単な操作性が画期的だ。

インターコムに限らず、機能やスペックのレベルが上がると、操作は難しくなりがち。8台がつながるといえるのは便利だが、一方その8台をそれぞれお互いにペアリングして接続するという操作はとても面倒だ。しかしこうした最先端の機能を搭載しつつも、誰にでも簡単に使いこなすことができればというのが20Sの魅力。20Sはこのグループインターコム以外にも、こうしたさまざまなPlusαの新しい機能を備えている。

専用機能でさらに 快適なツーリングが可能

20Sが一步抜きん出ている同時
接続台数8台が可能なグループ
インターコム機能。2人で話す
「2ウェイ」、3人で話す「3ウェイ」、
インターコム機能を発展させ、最大
8人で話せる「マルチウェイ」イン
ターコム機能を搭載。これは8台の
20Sを順にペアリングして通話する
のだが、ペアリングリスト
をスマホのアプリで管理も
可能。さらに、別の複数台イン
ターコム通話機能としてグループ
インターコム機能も搭載。この機能
は、スマホのアプリでグループを作
成し、20Sに情報を送信し簡単にグ
ループ通話が可能だ。20Sのボタン
操作ひとつで通話を始められる。
20Sにはこのほかにも本体内部に外
部の音を集音する専用のマイクを内
蔵するほか、モーションセンサーを
搭載し、これらでアンビエントモー
ドやクイックペアリングといった、
20S独自の機能が使える。さらに、
ハンドルバーリモコンまたは、リス
トバンドリモコンとBluetoothウー
スで接続可能。本体のジョグダイヤル
だけでなく、ハンドルの手元で20S
を操作できたりと、便利な機能がた
くさん盛り込まれている。これらを
フルに活用すれば、インターコムを
使ったツーリングがさらに快適にな
るのは間違いない。

ジョグダイヤル

ダイヤルの回転とタップの2つの動作で、音
量の増減からインターコム通話の開始や設定
メニューの呼び出しなど多彩な操作が可能

フォンボタン

スマートフォンなど電話の
ペアリングと発信に使う。
また、内蔵FMラジオの起
動やメモリーチャンネルの
呼び出しに使う

アンビエントモードボタン

クランプユニットの下面にあるアンビエント
モードボタンは、1度押すとボイスコマンド、
2度押すとアンビエントモードが作動する

グループペアリングとは



最大で8台の20Sを接続して同時に会話ができるマルチウェ
イインカム通話の発展機能。スマホアプリの「セナユーティリ
ティ」を使うことにより、リーダーとなる20Sの1台で、グ
ループ通話の開始、停止、再開とメンバーの管理ができる

Point_1

アンビエントモード



20Sには会話用マイクとは別に本体内部にマイクを内蔵。アンビエントモードを起動すると
この「もうひとつのマイク」が集音したヘルメットの外の音がスピーカーから流れる。ヘル
メットをかぶったままでも周囲の音が聞こえやすく、周りの人との会話もスムーズにできる

Point_2

クイックペアリング



2台の20Sを手で持
って振るだけでペア
リングできるのが
「クイックペアリン
グ」。2台の電源を
入れて緑色のLED
が点灯するまで本体
を振り、どちらかの
20Sのジョグダイ
ヤルをタップすれば
ペアリングは完了だ

Point_3

ハンドルバーリモコンとも接続可能



最新のファームウエ
アにバージョンアッ
プすれば、別売のハ
ンドルバーリモコン
と接続できる。この
リモコンを使えば、
ハンドルから手を離
すことなく、ジョイ
スティックと2つの
ボタンを使って20S
の操作が可能だ

価格:1万6632円 本体サイズ:84.4×550.7×24mm
連続使用時間:3カ月(環境により異なります) 充電時間:約2時間

スマホで 簡単ペアリング

20S向けのアプリ機能



SENA Utilityではグルー
プインターコムのほかに
も20Sのさまざまな機
能を設定可能だ。20S単
体ではジョグダイヤルとフ
ォンボタンで操作する設定メニューを、画
面でオン・オフやレベルを見ながら設定
できるのはとても便利。また、FMラジ
オやスピードダイヤルといった数字の入
力が必要な機能の設定には欠かせない



スマホの
情報を20Sへ
送り完了

グループのリストが完成したら左下の
「お気に入りグループとして保存」を
タップして、いったんスマホに保存す
る。その上で右下の「ヘッドセットに
保存」をタップし、グループのリス
トをリーダーの20Sに転送して完了



仲間の20Sを
チョイス

最初にグループ名を設定する。次にこ
のグループを管理するリーダーとなる
自分自身の20Sの名前を登録する(画
面では「インターコム1」)。その後、
仲間の20Sをひとつずつ、電源を入
れてスマホで認識してグループのリス
トに登録、という作業を繰り返す

Point_4

グループインターコムの設定方法

グループインターコムはリーダーとなる20Sとペアリン
グしたスマートフォンに、残り7台の20Sをひとつずつ登録。
グループのリストを作り、それをリーダーの20Sに転送す
ることで、グループインターコムを起動すれば8台が順に接
続できる。最初にグループのリストを作っておく必要がある。
「SENA Utility」は3つのグループリストが作成でき、スマ
ートフォンに保存が可能。ツーリングのメンバーが変わって
もリストから呼び出して20Sに転送するだけで、再び利用
することができる。アプリのダウンロードはApp storeまた
は、google playストアを起動し「SENA」で検索できる。



まずはアプリを
起動し
グループ設定

スマートフォンアプリ
「SENA Utility」を起動。
スマホとペアリングした
20Sが接続状態にあ
れば、上段の黒いエ
リアに接続中の20S
の状態が表示される。
この画面の左下にあ
る「グループインター
コム」をタップして
新たに作成する

10Cで 絶景の記憶を残そう!

インターコムがあればツーリングでの楽しい思い出をより濃く残せる
ブルートゥース製品を手掛けるセナはそんなライダーの思いを大切に
つながりを深める製品を僕たちに送り出してくれた



SENA
10C

価格:5万3784円
本体サイズ:107×60×31mm
本体重量:94g 充電時間:約3.5時間
ブルートゥースプロファイル:HSP,HFP,A2DP,AVRCP

※製品仕様は変更になる場合があります。

ライディング中にはヘルメットが下に向くことを考慮して、レンズの光軸が30度ほど上を向いたデザインとなっている

10Cで撮った映像は
そこにドラマがある

ツーリング先で思いがけず目に飛び込んでくる美しい景色。「今日はあの絶景を写真に撮っておこう」と意気込んでいいカメラをバイクに積んで出かけてみる。ただ、いざその景色の中に走り込んでいくと、なかなかバイクを停めてまで写真を撮ることができないのがバイク乗りの性というものだ。

そんな「走りたい、でも景色も残しておきたい」という欲張りな人にとって、車載カメラは何よりアイテムだろう。目の前の景色を走りながら動画として記録できるという点では、まさにこの2つをしっかりと叶えてくれる。しかし、そうして撮った車載カメラの動画を改めて見みると、淡々と流れる景色とエンジン音に、撮った本人も意外なほど早く飽きてしまう。その理由は、映像にドラマがないからだ。ツーリングはただ前を向いて走っているわけではない。左右の街並みに顔を向け、新しい発見があれば声を出して驚く。インターコムで仲間と会話しながら走っていれば、その会話そのものも旅の大事な要素のひとつになる。そんな旅のすべてを記録してくれるのがセナの10Cというインターコムカメラだ。これがあれば自

分の見たままをすべて映像として記録するだけでなく、仲間との会話や聞いていた音楽、ラジオなど、その時に起こったことすべてがムービーとして記録される。カーブを曲がった先に突然現れた絶景に、身震いする仕草から声まで、すべてがリアルな思い出として残るというわけだ。

こうして撮った映像は後で編集作業をしてムービーに仕立ててもいい。ライブでリアルなドラマがそこにはある。一人で見てもよし、仲間と見てもよし。ムービーを鍵に、絶景の記憶がありありとよみがえってくるだろう。

西伊豆スカイライン

Road Information
区間距離:10.8km
通行料金:なし
冬季閉鎖:なし
問合せ:西伊豆町観光協会
TEL0558-55-0412
<http://www.nishiizu-kankou.com/>



音声と動画の二刀流を楽々楽しむ！

インターコムカメラという、まったく新しいアイテムを生み出したセナ。すでにGoPro用アダプタの「GP10」など、インターコムと接続して使えるカメラを続々とリリースしている。そしてこのインターコムカメラは、車載カメラと会話機能がひとつになっているのだ。前端にカメラ用のレンズが付いた、インターコムとしては個性的なデザイン。最長通信距離1600m、最大4人での同時通話が可能、FMラジオも搭載、さらに他社インターコムとの通話も可能と中上級モデルにふさわしい機能を持つ10C。カメラは高画質を実現するとても明るいレンズを搭載し、フルHD画質の映像が撮れる本格的なものとなっている。ボイントはカメラとインターコムが一体になっているということ。撮影するムービーには走行音だけでなく自分の声、そしてインターコム通話の相手の声が同時に録音できる。さらに、スマホの音楽、またはFMラジオ機能で流れる番組の音声も重ねて録音できるのである。

これは何を意味するかというと、走っている時に見える、聞こえるすべてがムービーとして記録できるということ。旅の思い出、それも走行中に感じたものすべてがそのまま残ってしまうという、画期的なアイテムがこの10Cなのである。

旅先で動画をチェック



映像の入ったマイクロSDカードをスマホやタブレット、PCに差せばすぐに映像が見られる。またテレビとHDMIケーブルがあれば大画面で楽しむことも可能。昼食や宿で映像を見れば、さらにその場が盛り上がる

テレビで映像を見るには左のマイクロHDMI端子にケーブルを接続。タブレットやPCで見るなら、右のマイクロSDカードを使うといい



絶景を写真として残す!



動画の録画や写真撮影に使う本体上面のカメラボタン。カメラモードがオンであれば、ボタンを押すだけで写真の撮影ができる。動画撮影中でもシャッターが切れるため、希望の瞬間を写真として残すことが可能だ



アクティブな撮影もOK

取外しても使える!

ヘルメットから簡単に取外せるため、カメラだけを手に持った撮影も楽しい。ヘルメットを持ち込めない場所は、ハンディカメラのように使える。ケーブルを外して本体のみの撮影の場合、本体内蔵マイクで録音できる



ハンディのようにも使える

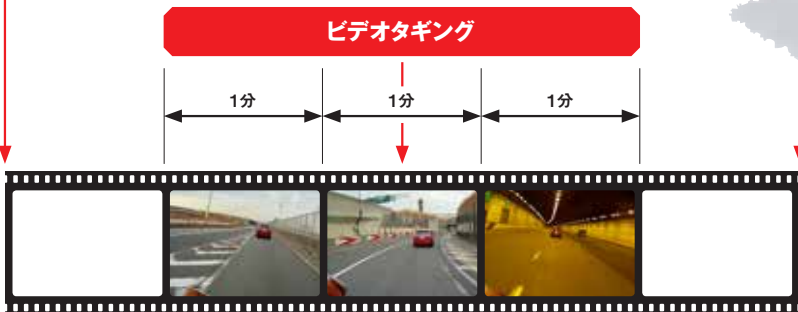
屋外であれば10Cをヘルメットに付けたままでも撮影することができる。125°という広い画角を持ったレンズなので、おおよそ被写体にヘルメットを向けさえすれば、まず狙いを外すことがないだろう



残したいところだけ残せるビデオタギング

ビデオタギングモード開始

ビデオタギングモード終了



ビデオタギングは上の図のようにボタン操作前後の3分間の映像を記録する機能。この機能を使えば、大切な瞬間を撮り逃すことなくツーリングを楽しむことができる



レンズはF2.0と明るく125度の画角を持っている。また30度の範囲で回転できるため、傾きを補正して撮影できる

Spec

撮影視覚視野:125°
解像度:1080p/30fps 720p/60fps、720p/30fps
録画時間:—
外部出力:microHDMI

使いやすさのこだわったディテール



1.セナ・インターコムのアイコンともいえる大型のジョグダイヤルホイール。グローブをした手でも回しやすいと定評のあるデザインだ 2.インターコムとしての操作は、ジョグダイヤルのほかに後面のフォンボタンのみとシンプル 3.ヘルメット側のマウントはカメラアングル調整用に角度を調整して固定できるつくり

Point_2

インターコム機能も充実



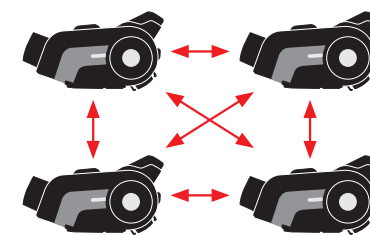
最大通話距離は1600m

インターコム通話可能な距離は最大で約1600m。高速道路などで相手との間が離れていたり、クルマが間にはいってきても会話が可能だ。インターコムをトランシーバー代わりに使える通話性能を持っている

FM

FMラジオ機能

FMラジオ放送機能も搭載。BGMとして音楽を聞いたり、ツーリング先の地元局で現地のイベント情報を得たり、さらに交通情報番組で渋滞などの情報を耳から得ることができる。最大で10の放送局のメモリーも可能だ



4台同時通話

インターコム通話は、ライダーとパセンジャーのような2人だけでなく、最大4人で同時に会話が可能。仲間と連れ立って走るときには、次の分岐点の進路や休憩のタイミングといった情報をメンバー全員で共有できる



ミュージックシェア

Bluetoothで接続したスマートフォンに入っているお気に入りの音楽をステレオで楽しめる。さらにその音楽をインターコム通話する相手と共有して一緒に聞ける「ミュージックシェアリング」機能も搭載している

動画を共有するためにサイトを利用しよう

NICONICO動画

登録
必要

トップページ右上の「動画を投稿」をクリックして投稿。一般会員とプレミアム会員があり、一般会員は動画のサイズや保存容量に制限がある。スマホからの投稿は月額540円のプレミアム会員のみ

YouTube

登録
必要

YouTubeがGoogleアカウントでログインすれば投稿可能。ページの右上にある「アップロード」をクリックして、動画ファイルを指定するかアップロードエリア内にドラッグ&ドロップすればいい

FaceBook

登録
必要

写真と同じように動画も投稿できる。タイムライン上の投稿欄の「写真・動画」をクリックしてパソコンやスマホの動画ファイルを指定すればOK。45分未満、1.75GB未満のMP4またはMOV形式に対応

スマホも活用
アプリで動画設定！

セナでは10Cをはじめ、20S、10Uの各種設定がスマートフォンから操作できるアプリ「セナ・ユーティリティ」を提供している。インターコムの設定メニュー以外にも、FMラジオのチャンネル登録やスピードダイヤルの登録ができるといった機能はどの機種でも共通だが、10Cではさらにビデオや写真撮影のための細かな設定が可能だ。

ビデオや写真撮影の解像度をはじめ、タイムラプスの撮影間隔、映像に同時に録音する音声ソースの切替えなどを、スマートフォンの画面を見ながら設定できる。10Cを使うならぜひとも一緒に活用したいアプリだ。



「スピーカー録音」では、耳元のスピーカーから流れるすべての音声ソースの中から、動画に録音する音声を選ぶ。「音楽」「FMラジオ」「インターコム」「電話」の中から選択



基本設定メニューは「VOX電話（音声呼び出し）」や「音声プロンプト（音声ガイド）」といったインターコム機能の下に「写真モード」「ビデオ解像度」といったカメラ機能の項目が並ぶ

まずは
ペアリング！

アプリを起動したら、まずは10Cとスマートフォンをペアリング。ペアリング済みであれば「ヘッドセットの接続」をタップして10Cを接続。「基本設定」がアクティブになればOK

走った記録を特別なモノに！

カメラとインターコムが一体になった10Cは、フルHD画質の映像が録れるのももちろん、さらに効率よく動画編集ができる撮影機能を搭載しているのが大きな特徴だ。そのひとつが、10C本体のマイクだけでなく、インターコム、電話、スマートフォンの音楽、FMラジオの音声、映像に同時に録音できること。特にスマホの音楽やFMラジオを同時に記録すれば、BGM付きの映像素材に早変わりする。

もうひとつはビデオタギング機能だ。走行中ずっと録画するのではなく、いい景色に出合ったときにボタンを押せば、その前後3分間を録画できるというもの。録画開始時の映像とその一分前からの記録で、希望の瞬間を撮り逃すことがなくなる。この機能を使えば、いいシーンだけを効率よく記録していくことができる。つまり、あとで編集するときにスムーズに作業が進められるのだ。

さらに10Cでは、タイムラプス動画や写真モードなど、さまざまな形で景色を残すことが可能。あとで編集する時に、こうしたタイムラプス動画や写真を組み合わせれば、もっとムービーに変化を付けられる。このように、映像を記録しながら編集作業の一部も同時にできてしまう10C。あとはあなたの編集センスによって、さらに面白いツーリングムービーに仕上げて欲しい。

動画編集に役立つ機能

タイムラプス動画モード

録画中は10秒に1回（変更可能）静止画を撮影し、それをつなげた動画ファイルとして記録。動画の早回しのような効果が得られ、長時間、変化の乏しい場面に最適

ビデオタギング

動画を撮影したいと思ったときにカメラボタンを1秒間押すと、その前1分、後1分さらに1分と合計3分を記録。決定的瞬間を撮り逃すことがなく、必要なシーンを撮影可能



iMovieで編集してみよう！



撮影した動画をiMovieに取り込もう。全体が長い動画でも、使いたい部分だけを細かく抜き出すことができる。トラジションを入れたり、音量調節、音と画像の分割も可能だ



iMovieの場合、新規で動画を作成する時に事前にテーマを決めることができる。サンプル動画もあるので、選んだ仕様の画面枠なども事前に確認できる。そのままの素材で作成することも可能だ

編集作業が完了したら、データ形式を選ぶだけ。iMovieではアップロード先によって保存できる。投稿サイトにアップロードする場合は、サイトの規格でデータのサイズで選ぶのがオススメ

動画編集ソフトも様々！

ムービーメーカー Windows

マイクロソフトの無料ソフト集「Windows Essential 2012」に含まれる動画編集ソフト。動画の切り貼りや音楽挿入などの基本的な編集ができる。またテーマを選んで簡単に映像作品が作れるオートムービー機能もある

iMovie Apple

アップルのベーシックな動画編集ソフト。ダウンロード料金は1800円となる。動画の基本的な編集に加え、音楽や、文字要素、トランジションと機能は豊富。スマホ版もあり、iPhoneやiPadで撮影した動画も編集可能

10Uは外から「見えない」 隠せるインターコム

ツーリング先で走り去るライダーのヘルメットを見れば、その人がインターコムを使っているかどうか分かるというもの。しかしこれからはそんな今までの常識が通用しない。外からはまったく「見えない」インターコムが登場！

「見えない」「見える」
アナタはどっちを選ぶ？

「どうもあのヘルメットから出っ張るのがイヤだ」とインターコムを敬遠するライダーは少なくない。特にスーパースポーツのようなバイクに乗るフルフェイスヘルメットのユーザーは、スポーティさに欠けるという意識があるようだ。しかし、今やインターコムは必ずしもヘルメットの外に付くスタイルのものだけではない。セナから登場した「10U」であれば、ヘルメットの外側には何もつかず、完全にヘルメットそのまゝの姿で使うことができるのである。

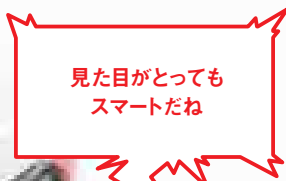
この10Uのような外から「見えない」インターコムと、従来から「見える」外から「見える」インターコムにはそれぞれメリットがある。「見えない」方は何より見た目がスマートで、取付けもスムーズ。操作はハンドルに取付けるハンドルバーリモコンを使って操作が手元でできる。一方「見える」方は、操作する仕草で会話を始めようとしていることが一緒に走る仲間から分かるし、バイクから離れていても操作が可能だ。「見える」インターコムと「見えない」インターコム。これからは、街乗りやツーリング、ワインディングと、自分の走りのスタイルに合ったものを選んで使うことができるわけだ。



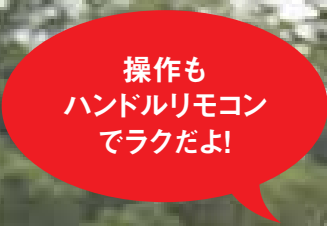
見た目がとっても
スマートだね



見た目がとっても
スマートだね



操作も
ハンドルリモコン
でラクだよ！



SENA
10U



Spec
価格:4万2984円
本体サイズ:77×68×58mm
通話時間:約10時間(環境により異なります)
充電時間:約3時間
Bluetoothプロファイル: HFP、A2DP、AVRCP

- 特徴
- 約1600mのインターコム通話が可能(見通しの良いところ)
 - 4人でわいわいおしゃべり、マルチウェイインターコム機能
 - インターコム通話時、沈黙してもノイズが入らない
アドバンスノイズ削減機能
 - ミュージックシェア機能
 - 内臓FMチューナー
 - 全天候対応
 - 指定ヘルメット専用設計
SHOEI:GT-Air、Neotec Arai:フルフェイス型ヘルメット
 - ハンドルバーリモコンで手元操作が可能



Point_5

マイク&操作ボタンもはさむだけ



「+」「-」ボタンの操作部と一体になったマイクユニット。これも頬部のライナーを挟むようにペロを差し込み、頬パッドのスナップに穴を合わせて固定するだけ。マイクのあしらいがスマートだ

ハンドルバーリモコン

10Uのキーデバイスともいえるのが「ハンドルバーリモコン」。原則として10Uの操作はマイクユニットのボタンではなくこのリモコンで行う。左側のグリップに挟み込むようにして取付けると、ちょうど親指でフロントボタンとジョイスティック、人差し指でリヤボタンが操作できる位置にくる。ハンドルから手を離すことなく10Uの操作すべてができるため、快適なうえに何より安全だ。



強力なバネの力でハンドルバーを挟み込む

フロントボタン
インターコムのペアリングやインターコム通話の開始・停止、電話の着信拒否。音声設定に使用する

リヤボタン

ケータイ・スマホの通話の応答・終話、スピードダイヤル(短縮ダイヤル)の呼び出し、FMラジオのオンオフに使う



ジョイスティック
電話のペアリング、音量調整、音楽の再生・停止と頭出し、FMラジオの選局、機能設定操作を行う



Spec
本体サイズ:84.4×50.7×24mm
連続使用時間:3か月(環境により異なります)
充電時間:約2時間
Bluetoothプロファイル:GAP、GATT
※製品仕様は変更になる場合もあります。

Point_4

スピーカーは専用ステーでスッカリ



スピーカーは板状のスナップホルダーというパーツを取付たうえで、その穴を頬パッドのスナップに合わせて固定。さらにイヤパッドの3カ所の穴に突起を差し込むため正確に位置が決まる



Point_1

バッテリーはコンパクトに収まる



バッテリーユニットはライナーの後頭部下面に取付ける。厚みが5mm弱と薄く、首を動かしても邪魔にならない。色も内装と同じ黒なので、パッと見にはほとんど付いていないことが分からない



取付けも簡単

外側のペロを帽体とライナーの間に差し込むようにして取付ける。内側のペロの穴がライナーのスナップの位置に合うので、その上からセンターパッドを取付ける。位置は専用品のため正確に決まる



マイク、スピーカー、バッテリー、アンテナとコンポーネント化された10Uは、そのすべてがヘルメットの中に納まるのが最大の特徴。いずれも内装のスナップをガイドに固定する仕様だ

Point_3

アンテナは隙間に収まる



10Uはアンテナも外に露出しない。長いヘラ状のアンテナは、左側の帽体とライナーの間に差し込み、内側のペロの穴を頬パッドのスナップに合わせ、頬パッドで挟むようにして固定する

Point_2

microUSBを装備



バッテリーユニットにはマイクロUSB端子と充電時に点灯するLEDランプが装備されている。バッテリーの充電や、ファームウェアのアップデートが可能だ。ゴミの侵入防止のカバーも付く

ヘルメットの左側を見れば、そのライダーがインターコムを使っているかどうか分かる……そんな常識を覆すのが、セナから新たにデビューする「10U」だ。
10Uは従来のインターコムのような、メインユニットが存在しない。ケーブルで結ばれたマイク、スピーカー、バッテリー、アンテナというコンポーネントがあるだけで、帽体の表面に取付けるような、本体にあたるものはない。ボタンやダイヤルが付いた本体がないため、10Uではヘルメット側システムとBluetoothワイヤレスで接続されたハンドルバーリモコンが付属し、

手元の操作で対応する。さらに、リストバンドリモコンも同様に使える。もうひとつの特徴がヘルメット専用品となっていることだ。ラインナップはショウエイのGT-Airとネオテック用、アライのフルフェイス用。各ヘルメットの内装に合わせて設計されているため、スムーズでスマートな取付けを実現している。シンプルさを追求するとスペックに妥協があるというものだが、10Uのそれはハイエンドクラス。約1600mの通信距離、最大4人での同時通話、音楽共有にFMラジオも搭載。10Uは全方位の機能と性能に革新的なスマートさを備えたまったく新しいインターコムなのである。

セナのインターコムを ハンドルの手元で操れる

インターコムの登場でツーリングのスタイルが多様化してきた
そんなインターコムのためのワイヤレスリモコンが登場
ハンドルから手を離さずインターコムが操作できることで
もっと自由自在にインターコムが使いこなせるようになる！

ウィンカーやライトを 操作する感覚で使える

ヘルメットに付いたインターコムを操作する場合、ハンドルから左手を離してボタンを押すというのが一般的な常識。ハンドルから手を離すのは一瞬とはいえ、右手だけの運転になってしまうというのは紛れもない事実だ。そんな片手運転を解消してくれるのが、セナのハンドルバーリモコンだ。

これは左側のハンドルグリップ

に取付けるインターコムのワイヤレスリモコンで、ハンドルスイッチボックスに並ぶスタイルは見た目もスマート。ウィンカーやヘッドライトの操作をするのと同じ感覚で、ハンドルから手を離すことなくインターコム通話をはじめ、セナのインターコムのさまざまな操作ができる。もちろんグローブの上からでも操作しやすいボタン



ハンドルから手を離すことなくインターコムを操作できるハンドルバーリモコン。より安全なライディングにつながることはいうまでもない

形状になっている。

これまではヘルメットに装着しているため、手探りで操作していたインターコム。ハンドルバーリモコンを使えば、目で確認しながら確実に操作ができるから、ボタンの押し間違いもないのだ。またハンドルから手を離さないため、慣れればクラッチを握った状態でもインターコムの操作が可能だ。



SENA

ハンドルバーリモコン

販売価格:1万6632円

対応機種:20S、10C、10U

上記の3機種に対応したワイヤレスリモコン。ジョイスティックと2つのボタンでインターコム通話、電話、音楽再生、FMラジオの各機能を操作できる

Point_7

ボタン操作方法



ボタンは直接見ながら操作することはできないが、突起しているのとちょうどいい位置にあることもあって操作しやすい

ハンドルバリリモコン 標準装備の10Uラインナップ



SHOEI
NEOTEC用



SHOEI
GT-Air用



Arai
フルフェイス型
ヘルメット用

Spec

価格:4万2984円
ラインナップ:SHOEI GT-Air用
SHOEI NEOTEC用
Arai フルフェイス型ヘルメット用
通話時間:約10時間(環境により異なります)
充電時間:約3時間
ブルートゥースプロファイル:HFP、A2DP、AVRCP
※製品仕様は変更になる場合があります。

ハンドルバリリモコンを標準装備するインターコム10U。操作をすべてハンドルバリリモコンに任せることで、操作部を含むインターコムの本体にあたる部分を帽体内に分散配置した斬新なシステムが特徴だ。現在、SHOEIのGT-Air、NEOTECの2モデルと、アライの現行フルフェイスタイプに対応するモデルを用意

Point_3

マイクロUSB端子

充電は後ろ側アームにあるマイクロUSB端子から。Androidスマートフォンなどに使う充電器が使える。充電時間はおよそ2時間だ

Point_4

リヤボタン

後ろ側アームにあるのがリヤボタン。グリップを握った手の人差し指で操作する。おもに電話の発着信やFMラジオの操作などが割り当てられていて、セナのインターコムであればフォンボタンにあたる。また、最初にセナのインターコムとペアリングする際にも使う

Point_5

フロントボタン

グリップを握った状態の親指で操作する、手前側アームにあるフロントボタン。ハンドルバリリモコンのオンオフと、主にインターコム会話機能の操作やインターコムの設定メニューの操作などに使用する。セナのインターコムのジョグダイヤルの押下操作に相当する

Point_6

ジョイスティック

ジョグダイヤルがアイコンとなっているセナのインターコムだが、その回転操作に相当するのが親指で上下左右方向に操作するジョイスティック。スマートフォンに入った音楽を聞くための操作に使う。さらに、ボタンとしての機能も備えグローブでも使いやすい形状だ

充電に気を遣わない スマートなりモコン

セナのインターコムをハンドルから手を離すことなく操作できるのが「ハンドルバリリモコン」。大きな洗濯ばさみのようなデザインが個性的なこのワイヤレスリモコンは、セナのインターコムとブルートゥースで接続し、ジョイスティックとふたつのボタンを使って、インターコム会話、電話、音楽、FMラジオの操作が可能だ。

このリモコンの特徴をあげるとするなら、そのひとつは取付けの簡単さだ。ネジなどを一切使わず、2つのアームを開いてハンドルグリップに挟むだけ。それでも強力なスプリングの力で、走行中に落下するようなことはないから心配無用。またもうひとつが「ブルートゥース4.1」という超省電力の新規格を採用していることだ。ブルートゥース対応腕時計や活動量計などにも使われているこの省電力ブルートゥース規格によって、約2時間の充電で約3カ月も使えるのである。

ハンドルバリリモコンは、簡単な取付けや充電回数の少なさなど、気を遣うことが少ないのがポイント。それだけに、今後も増えていくであろうハンドルバリリモコン対応インターコムには、ぜひ組み合わせて使いたいアイテムだ。

Point_1

取付けはカンタン



左側のハンドルグリップに取付けるのが基本。作業は前後ふたつのアームを開いてグリップを挟むようにするだけで簡単だ。アームが挟むバネの力でハンドルグリップを保持するだけだが、これで落ちるようなことはまずない。親指でジョイスティックが操作しやすい向きにするのがポイント

Point_2

ブルートゥース4.1で接続可能!

ハンドルバリリモコンはキットに同梱されている10Uはもちろん、インターコムカメラ10Cやセナの旗艦シップインターコム20Sでも使用可能。いずれのモデルもブルートゥース4.1のプロファイルに対応していて、ハンドルバリリモコンとペアリングして使う。インターコム会話のほか電話の発着信やインターコムに接続したスマートフォンなどの音楽メディアなどの操作、さらにインターコム内蔵のFMラジオ機能などがハンドルの手で操作可能



20S



10C

10U



電話の発着信

電話の発着信は後ろ側アームのリヤボタンで行う。登録した相手にかけるスピードダイヤルや、音声でかけられるボイスダイヤルも原則としてこのボタンで操作。セナのインターコムであればフォンボタンの操作となる



音楽操作も可能

インターコムに接続したスマートフォンの音楽を楽しむような場合にも、ハンドルバリリモコンで操作が可能だ。楽曲の再生、停止はジョイスティックの下押で、また、ジョイスティックを左右に倒すことで次の曲に送ったり、戻したりすることができる



インカムとの接続

インターコム同士のペアリングや会話の開始、停止は、すべてフロントボタンに集約され、親指で操作する。セナのジョグダイヤルタイプのインターコムであれば、ジョグダイヤルボタンをタップする操作と同じだ



FMラジオ操作

10U、10C、20SはFMラジオ機能を搭載しているため、このFMラジオも左手でリモコン操作が可能だ。FMラジオのオンオフやメモリー周波数の呼び出しはリヤボタン、マニュアルで放送局をシークする場合ジョイスティックで行うようになっている

ベーシックからハイエンド
 個性的なモデルまで選べる

もともと、タンデムライダーイン
 グで、走行中にライダーとパッ
 センジャーが快適に会話できるよう
 に生まれたバイク用インターコ
 ム。Bluetoothという無線通
 信技術を取り入れるようになってか
 らは、ライダーとパッセンジャー
 間だけでなく、一緒に走る2台か
 ら、3台、4台と、グループで走
 りながら会話するトランシーバー
 代わりのコミュニケーションツ
 ールになっている。

さらに最近では、Bluetoothウ
 ィスでスマートフォンが接続できる
 こともあって、電話に出られるの
 はもちろん、スマホに入れた音楽
 を聴いたり、ナビアプリを使つて
 ナビの音声案内を聞いたりといっ
 た、一人で走るときのオーディオ
 として使うユーザーも増えている。

このように、利用目的や使い方
 が幅広くなっているインターコム。
 セナのインターコムであれば、ベ
 ーシックからハイエンドまで揃っ
 ているだけでなく、カメラ付きイ
 ンターコムや、ヘルメット内蔵型
 インターコムといった、個性的な
 モデルも用意している。そんな豊
 富なラインナップの中から、アナ
 タにぴったりの1台が、必ず見つ
 かるのがセナのインターコムだ。

2人で話す



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

3～4人で話す



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S
 (切替)

8人で話す



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

※各項目のアイコ
 ンは可能であれば赤
 色、不可能であれば
 灰色で表示されます。

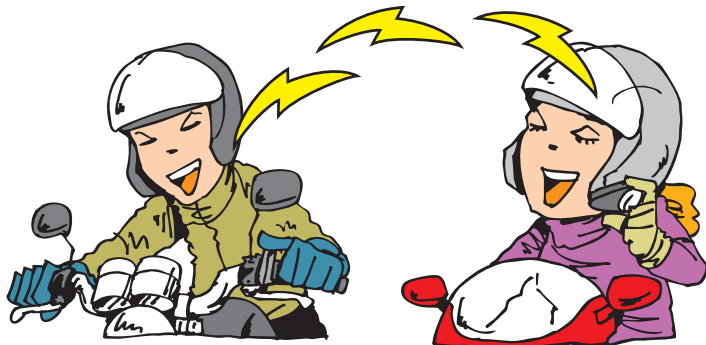
話す

セナのインターコムは2台で会話する
 「2way」はもちろん、10シリーズ、20Sで
 あれば3人、4人で同時に会話ができる

「2Way」「マルチWay」通話機能を搭載。も
 ちろん、グループ通話だけでなく、個別に相
 手を呼び出して通話することもできる。

さらに20Sの「グループインターコム」
 機能を使えば、最大8人のグループを一度に
 呼び出して同時に会話することもできるのだ。

他社メーカーと話す



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

「ユニバーサルインターコム」機能を使えば、相手のインターコムの
 ブランドを問わずに通話ができる。この機能があれば、一緒に走る仲
 間が使っているインターコムのブランドを気にすることなく、セナの
 インターコムを選ぶことができる。さらにこの機能を使えば、市販の
 スマホ用Bluetoothヘッドセットと会話することもできるのだ。



電話で話す

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

スマホをBluetoothで接続しておけば、電話ができるのもイン
 ターコムの基本的な機能のひとつだ。かかってきた電話にボタンひと
 押しで出られるのはもちろん、直前に通話した相手先につけ直したり、
 インターコムに登録した相手先を呼び出してかける「スピードダイヤ
 ル」機能も備えている。声で相手先を呼び出せるモデルもある。

どこで使うかアナタが決める
 ピッタリの1台を見つけよう！

タンデム、グループツーリングに加えて、今や一人で走るときにも何かと使えるインターコム
 セナのインターコムであれば、仲間との通話、電話、音楽、FMラジオといった基本機能に加えて
 さまざまな話す、聴く、撮るができるラインナップが揃っている

シンプルスペックでヘルメット内に収まる

3シリーズ



価格:1万4472円
 最大通話人数:2人
 同時通話:2人
 通信距離:最大200m

3S-Bのマイクをケーブル式に換装した
 フルフェイスヘルメット対応機。これ1
 台でインターコム通話から音楽を聴いた
 り電話に出たりとマルチに使える

価格:1万3392円
 最大通話人数:2人
 同時通話:2人
 通信距離:最大200m

オープンフェイスヘルメットに最適な
 ベーシックモデル。操作はアームマイクに
 付いたボタン2つで行うのが特徴。タン
 デムやソロ使いに最適な1台だ

FM機能付きで操作がカンタン

5シリーズ

SMH5
 UNIVERSAL PACKAGE



価格:1万7712円(ソロ)
 3万3264円(ペア)
 最大通話人数:4人(切替)
 同時通話:2人
 通信距離:最大400m

小粒なボディがどんなヘルメッ
 トにも合うスタンダードモデル。
 普及機でありながらミュージッ
 クシェア、ユニバーサルインタ
 ーコムといった機能も搭載する

SMH5-FM
 UNIVERSAL PACKAGE



価格:2万304円
 最大通話人数:4人(切替)
 同時通話:2人
 通信距離:最大700m

スタンダードモデルSMH5のコ
 ンパクトさはそのままにFMラ
 ジオ機能を搭載。周辺局を探
 スキャンに加えて、10局のプ
 リセットメモリーを備えている

SENAインターコムの
 フラッグシップ

20S

20S



価格:3万6072円(ソロ)
 6万9984円(ペア)
 最大通話人数:8人
 同時通話:8人
 通信距離:最大2.0km

「オーディオマルチタスク」機
 能をはじめ、最大通信距離2km、
 最大通話人数8人など、セナ・
 インターコム最高峰の機能・性
 能を備えたフラッグシップ機

スタイルに合わせてカタチも選べる

10シリーズ

SMH10



価格:2万5272円(ソロ)
 4万8384円(ペア)
 最大通話人数:4人
 同時通話:4人
 通信距離:最大900m

ジョグダイヤルスタイルを確立
 させたセナのロングセラーモデ
 ル。4人同時通話やユニバーサ
 ルインターコムといった、20S
 に迫る機能を満載している

10C



価格:5万3784円
 最大通話人数:4人
 同時通話:4人
 通信距離:最大1600m

車載カメラを内蔵し、ライダー
 目線でインターコム会話入りの
 動画や写真が撮れるインターコ
 ム。4人同時通話やFMラジオ
 といった機能も充実している

10U



価格:4万2984円
 最大通話人数:4人
 同時通話:4人
 通信距離:最大1600m

“本体”にあたる部分がなく、
 操作はすべて手元のリモコンで
 行うという次世代のインターコ
 ム。SHOEI、アライのヘルメ
 ットのパッケージを用意

聞く/聴く

FMラジオを聴く

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S
SMH5を除く

20S、10U、10C、SMH5-FMはFMラジオ機能を搭載。BGM代わりに音楽番組を流すだけでなく、旅先の地元のFMラジオ局の番組を聞けばご当地情報もキャッチできる。また、渋滞などの交通情報を画面を見たりすることなく耳から得られるのも、走行中にはとても助かる。

Siriを使う

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

iPhone に向かって質問するだけで、アプリを起動したり、電話帳を呼び出して電話をかけたり、インターネット検索ができる「Siri」。このSiriも、インターコムのマイクを通じて呼び出すことができる。走行中にSiriの助けがあると、画面を操作する必要がないだけに便利だ。



音楽を聴く

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

スマートフォンにイヤホン差して聴いている音楽も、インターコムを使えばワイヤレスで楽しめる。もちろん再生・停止や頭出しといった操作も可能だ。セナのインターコムは音質にもこだわっていて、低音から高音まで豊かなサウンドをステレオで楽しむことができる。



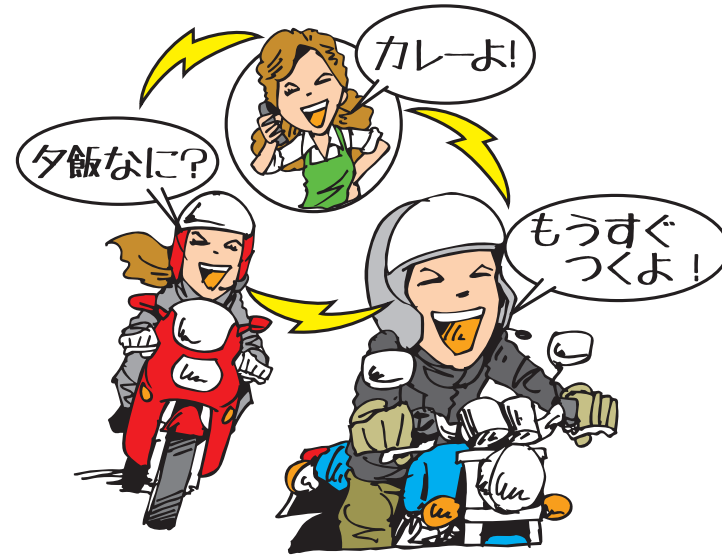
ナビやレーダーの音声案内を聞く

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

ナビやレーダー探知機がブルートゥース対応なら、それらをインターコムに接続して、ナビの音声案内やレーダー探知機の警告を聞くことも可能だ。A2DPのナビではオーディオマルチタスクでバックに聞こえ、HFPは切替わる。メーカーによっては対応しないものもある。



会議機能で話す



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

20Sや10C、10U、SMH10に搭載された「会議通話」機能を使えば、自分のインターコムにかかってきた電話をもう1台のインターコムに中継する形で、電話の相手と2台のインターコムの3人で通話することができる。この機能を使えば、別に走る仲間と電話で連絡を取るようなときに、一緒に走る友達とその通話を共有できる。

聴きながら話す



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

「オーディオマルチタスク」を搭載した20Sであれば、お気に入りの音楽をバックで流したまま、仲間とのインターコム通話が楽しめる。また、ナビの音声、FMもバックで流すことができるため、仲間と通話中に音声案内が聞こえなくて、分岐点を聞き取りにくい料金所などでもない。バックで流れる音の大きさを一時的に下げることが可能だ。

外から見えない

ヘルメット内に収まる隠せるインターコム



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

従来のヘルメット外側に取付けるインターコムから、ヘルメット内側に本体を収めてしまうインターコム。シンプルさを追求し、会話を楽しむことができるオープンフェイス用の3S-Bとフルフェイス用の3S-Wの3シリーズと、指定ヘルメット専用設計で本体が収まる10U。ヘルメットのデザインを損なわないスマートさが魅力だ。

撮る/録る

GoProで音声も一緒に録る

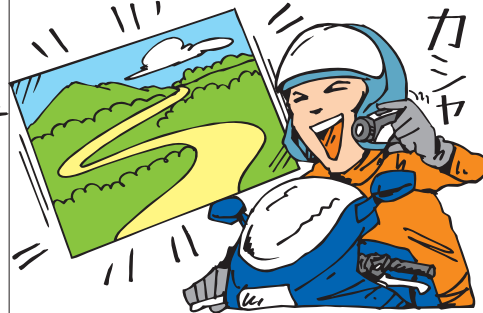


GoPro HERO3+/4対応のバックパック。インターコムの音声をGoProの映像と同時に録音できる
GP10
価格:1万5552円~
最大通信距離:100m

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

走行中の映像にカメラのマイクが拾った風切音やエンジン音が流れる車載カメラの動画は旅の記録に最適だ。そんな車載カメラの中でもGoProならブルートゥースバックパック「GP10」との組み合わせで、映像にインターコムの音声を重ねて録音できる。自分たちの声が入った車載映像は、旅の記憶をさらに鮮明に蘇らせてくれるだろう。

気になった場所で写真撮影できる



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

10Cの写真モードを使えば、動画だけでなく3.5Mドットサイズの写真撮影ができる。ボタン操作でシャッターが切れるだけでなく、1回の操作で5枚連続の写真が撮れるバースト撮影や、一定間隔で自動的に写真を撮影するタイムラプス撮影も可能。ヘルメットに付けた10Cなら、自分の見たままを撮ることができる。

無線で話す

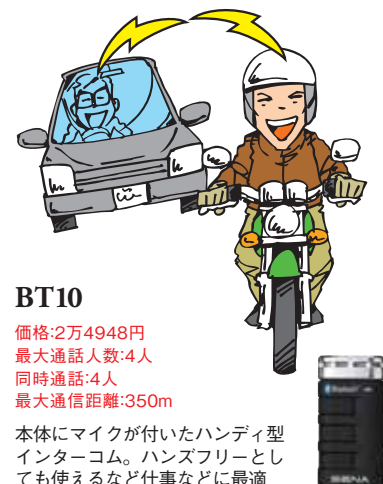


SR10
価格:2万7216円
無線機のほかナビやレーダー探知機を有線で接続可能。さらにブルートゥースで電話も接続できる

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

昔からバイク間のコミュニケーション手段として使われている無線もインターコムと組み合わせて使うことができる。無線機のスピーカマイク端子をセナの双方向無線機用アダプタ「SR10」に接続すれば、インターコムで送受話が可能だ。SR10はスマホ程度のサイズなので、ハンディトランシーバーであればバイクから離れても使える。

クルマと話す



BT10
価格:2万4948円
最大通話人数:4人
同時通話:4人
最大通信距離:350m
本体にマイクが付いたハンディ型インターコム。ハンズフリーとしても使えるなど仕事などに最適

3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

インターコムはバイクのためのものとは限らない。例えばバイクとクルマと一緒に走るようなときに、クルマのドライバーがバイク用インターコムを使うのはムリがある。そんなときには「BT10」を使うといい。ドライバーが胸ポケットにBT10をクリップしておけば、ハンズフリーでバイクのインターコムと会話ができてしまう。

アンビエント機能で話す



3 シリーズ 5 シリーズ SMH 10 10C 10U 20S

20Sには口元のマイクとは別に、本体に周囲の音を拾うマイクが付いている。そしてホルダー下面のアンビエントボタンを2度タップすると、そのマイクが集音した音が両耳のスピーカーから流れるアンビエントモードが作動する。これを使えば、ヘルメット越しには聞き取りにくい料金所などでのコミュニケーションがスムーズになる。

ワイヤレスで新たな コミュニケーションツールを 使いこなそう

インターコムのもっと基本的な技術が
Bluetoothという通信機能
あらゆるものをワイヤレスで接続可能な
このコミュニケーションツールを使えば
トランシーバーや音楽プレーヤー
さらにはメーカカーの壁を超えて
あらゆるインターコムやヘッドセットと
接続できて、世界が広がる！

トランシーバーも インターコムで使える

ライダーとパッセンジャー間だ
けでなく、今や仲間とのコミュニ
ケーションツールとして定着した
インターコム。これが登場するま
では、その主役は無線機（トラン
シーバー）だった。
今なおベテランライダーを中心
に愛用されている無線機だが、バ
イクで使う際にはヘルメットに付

けたヘッドセット（マイクとスピ
ーカー）と無線機をケーブルでつ
ないで使う必要がある。このケー
ブルが何かと煩わしいのは、無線
機ユーザーであれば誰もが感じ
ているところ。そんなケーブルを
なくせるのが、セナのBluetooth
アダプタSR10だ。
これは、無線用のヘッドセット
をインターコムに置き換え、無線
機との間をBluetoothで結ぶ
ためのアイテム。SR10を無線機

のヘッドセット用コネクタに接続
するだけで使え、ヘルメット側は
セナ製品をはじめとした幅広いイ
ンターコムやBluetoothウースヘッ
ドセットが使える。無線の操作は
送受信の切り替えにPTTスイッ
チを使うが、これもちゃんとSR
10に付属していて、今まで通りの
操作で通話ができる。

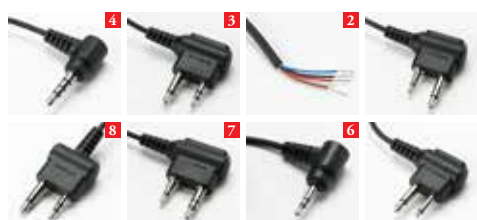
さらにSR10は無線以外にもナ
ビやレーダー、スマホなどの音声
をひとつにまとめてインターコム
に飛ばせるミキサー的な機能を持
っている。そのため、インターコ
ム側の操作も簡単になる。そうい
う意味でもSR10は、無線も含め
たあらゆる音声ソースの要になる
存在だといつていいだろう。

機能



オプション

SR10とトランシーバーの接続には無線機
メーカーごとに用意された別売の専用ケー
ブルを使う。というのも無線機によってスピー
カーマイク端子の形状が異なるためだ。現在、
モトローラやミッドランド、ケンウッド、ス
タndaードといった主なメーカー別に7種類
を用意。その他のメーカーや車載型無線機の
ためにコネクタ
を自作できるオ
ープンエンドケー
ブルもある。



- 1) ICOM2ピン変換ケーブル
- 2) 無線機カスタム接続用オープン
エンドケーブル
- 3) ミッドランド用2ピンケーブル
- 4) Vertex Standard用1ピン変換ケーブル
- 5) モトローラ用
2ピン変換ケーブル
- 6) モトローラ用1ピン変換ケーブル
- 7) ケンウッド用2ピン変換ケーブル
- 8) ICOM、ミッドランド用
ストレート2ピン接続ケーブル。価格はすべて3348円

- 右) 一般携帯電話、スマートフォン用
接続ケーブル4極
左) ノキア携帯電話用接続ケーブル。
価格はすべて1512円

取付方法



PTTスイッチは付属のゴム製バンド
でグリップに巻き付けるか、面ファス
ナーなどでスイッチ付近に取付ける



付属のベルトクリップを背面
に取付ければ、トランシーバ
ーと一緒にベルトなどに引
掛けて持ち運べる

SR10のサイズはスマートフォ
ン程度なので、ハンディトランシ
ーバーと同じように扱える。また、
無線の送受信を行うPTTスイッ
チはハンドル付近に取付けて使う。
本体にも大きなPTTボタンが付
いているため、バイクから離れて
も送受信操作ができ便利だ。



SENA SR10

価格:2万7216円
通話時間:12時間
連続待機時間:10日間
充電時間:3.5時間
通信距離:10m
(環境により異なる)

ハンディ型トランシーバ
ーをBluetoothウースヘッ
ドセットで使えるように
するワイヤレスアダプタ。
レーダーやナビの音声も
ケーブルで入力できる

共有できれば楽しさ倍増

音楽を走りながら楽しめるというのも、インターコムの便利な機能のひとつ。スマートフォンやBluetooth対応の音楽プレーヤーに入れたお気に入りの音楽を流しながら走れば、ツーリングの気分もさらに盛り上がるというものだ。

ただし、意外と知られていないのが、タンデムをするときに2人が1台のスマホや音楽プレーヤーの音楽を同時に聞けないこと。というのもBluetoothウースは対応機器を1対1で接続するのが原則。そのため、1台のスマホからライダーとパッセンジャーのインターコムに同時に音楽を送信することができないのだ。

そこで活用したいのがセナのSM10。これはスマホや音楽プレーヤーのイヤホンジャックとケーブルで接続して使うBluetoothウーストランスミッタ（送信機）だ。SM10は2系統のBluetoothウース送信機能を持っているため、ふたつのスマートフォンに対してひとつの音声ソースを同時に送信することが可能。つまり、SM10を経由すれば、2人で同じ音楽を聴くことができるのだ。

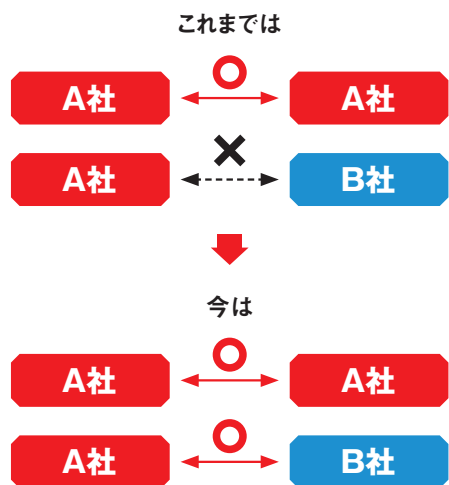
また、SM10は音声入力を2つ持っている。音声入力2にナビやライダーを接続すれば、音声入力1の音楽を聴いているときに音声案内があると、自動的にミュートして音声案内をしつかり聞くことができる。いわば賢い。音声サーバー。なのだ。

他社インターコムと話せて仲間が増える！

インターコムは同じメーカーの製品同士でしか通話ができないうのが今までの常識だった。しかし、セナのインターコムに搭載されているユニバーサルインターコム機能を使えば、セナ以外の製品と接続して通話することが可能だ。この機能を使えるメリットは大きい。というのも、例えば4人のメンバーでツーリングに行く場合、メンバー全員がインターコムで通話しようとする、当然全員が同じメーカーのものを揃える必要があるが、現実問題としてこれはなかなか難しい。しかし、ユニバーサルインターコム機能があれば、メンバーのうち2人がセナ以外のインターコムを使っているグループで会話が可能。また、旅先で出会ったライダーがセナ以外であっても一緒に走りながら通話することだってできる。つまり、この機能でメーカー間の壁を超えた、新しいコミュニケーションが生まれるのだ。

「ユニバーサルインターコム」機能

インターコムのいわゆる通話機能には、各メーカー独自の工夫がなされているため、原則として同じメーカーの製品同士でないとインターコム通話ができない。これはセナの製品にも当てはまる。ただし、ユニバーサルインターコム機能を使えば、HFPプロファイルに対応したインターコムや携帯電話用ヘッドセットであれば、ペアリングしてインターコム通話ができる。このユニバーサルインターコム機能は、現在3Sを除くすべてのセナのインターコムに搭載されている。



他社製品	20S	10C	SMH10	10U	SMH5	SMH5-FM
	価格:3万6072円(ノロ) 6万9984円(ペア) 最大通話人数:8人 同時通話:8人 通信距離:最大2000m	価格:5万3784円 最大通話人数:4人 同時通話:4人 最大通信距離:1600m	価格:2万5272円(ノロ) 4万8384円(ペア) 最大通話人数:4人 同時通話:4人 通信距離:最大900m	価格:4万2984円 最大通話人数:4人 同時通話:4人 通信距離:最大1600m	価格:1万7712円(ノロ) 3万3264円(ペア) 最大通話人数:4人 同時通話:2人 通信距離:最大400m	価格:2万304円 最大通話人数:4人 同時通話:2人 通信距離:最大700m

※3Sにはありません

取付方法



SM10はとてもコンパクト。ポケットに入れたり付属のゴムバンドでハンドルバーに設置しても邪魔にならない

操作方法



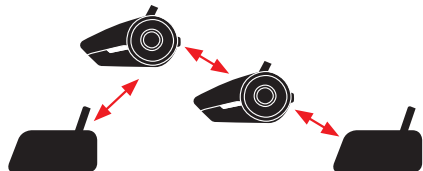
電源のオンオフは左側面のスライドスイッチで操作する。インターコムがペアリングしてあれば自動的に接続される

機能

2台のインターコムに同じ音声を送信できるBluetoothウース機能と2系統の音声入力端子を持つSM10。音声入力端子には優先順位があり、入力1に音楽、入力2にナビなどを入力すれば、音楽再生中に音声案内があると音楽が自動的にミュートされる機能も使える。



20S、10U、10C、SMH10ではマルチウェイでもユニバーサルインターコム



この機能は、単に他社インターコムと1対1で接続するだけでなく、2台以上のセナインターコムと2台の他社インターコムで4人以上の同時通話も可能。20Sの場合は最大8台までのマルチウェイインターコム通話に対応し、他社製は2台まで接続できる

繋がるアプリ機能(20S、10C、10U)



ペアリングリスト20S、10U (2016年2月20日現在)

スマホアプリ「セナユーティリティ」を使えば、インターコムにペアリングしているBluetooth機器を一覧できる。さらに機器の名前を自分で分かる文字列に変更することも可能だ

スピードダイヤル

セナのインターコムは声で呼び出して電話ができる「スピードダイヤル」のメモリーを3つ持っている。セナユーティリティでは、このメモリーに登録する電話番号をスマホから入力できる



SENA SM10

価格:2万736円
通話時間:8時間
連続待機時間:約3日間
充電時間:3時間
通信距離:10m(環境により異なる)

Bluetoothに対応していない音声ソースをふたつのインターコムに同時に送信できるトランスミッタ（送信機）。2系統の音声入力が可能だ



用途に応じてモデルも変わる！
Sena Bluetooth World の多様なモデル群

									
		20S	10S	10C	10U	SMH10	SMH5	SMH5-FM	3S
基本スペック	Bluetooth	ver 4.1	ver 4.1	ver 4.1	ver 4.1	ver 3.0	ver 3.0	ver 3.0	ver 3.0
	デュアルモジュール	○	—	—	—	—	—	—	—
	FM ラジオ	○	○	○	○	—	—	○	—
	連続通話時間	※1 13 時間	12 時間	17 時間	10 時間	12 時間	8 時間	7 時間	8 時間
	待ち受け時間	10 日間	10 日間	未定	未定	10 日間	7 日間	6 日間	7 日間
	通信距離	※2 2000m	1600m	1600m	1600m	900m	400m	700m	200m
インカム機能	インカム同時通話会話人数	8 人	4 人	4 人	4 人	4 人	2 人	2 人	2 人
	インカムフレンド登録人数	※3 9 人	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人	3 人	1 人
	インカム通話時ノイズ削減機能	○	○	○	○	○	○	○	—
	グループインターコム機能	○	○	—	○	—	—	—	—
	ユニバーサルインターコム機能	※4 ○	○	○	○	○	○	○	—
HFP・A2DP機能	オーディオマルチタスク	※5 ○	—	—	—	—	—	—	—
	ミュージックシェアリング機能	※6 ○	○	○	○	○	○	○	—
	セカンドフォンペアリング	※7 ○	○	○	○	○	○	○	○
	スピードダイヤル機能	※8 ○	○	○	○	○	○	○	—
カメラ機能	HD(1080p:30fps) ビデオモード	—	—	○	—	—	—	—	—
	静止画	—	—	○	—	—	—	—	—
	バースト	—	—	○	—	—	—	—	—
	タイムラプス	—	—	○	—	—	—	—	—
	HD 音質録音	—	—	○	—	—	—	—	—
	防水ハウジング (40m)	—	—	—	—	—	—	—	—
	HDMI 出力	—	—	○	—	—	—	—	—
その他の機能	全天候対応	○	○	○	○	○	○	○	— ※14
	ボイスコマンド	※9 ○	—	—	—	—	—	—	—
	NFC でペアリング	※10 ○	—	—	—	—	—	—	—
	ハンドルバー・リモートボタン	※11 ○	○	○	○	—	—	—	—
	モーションセンサー	※12 ○	—	—	—	—	—	—	—
	iOS/Android 専用アプリ	※13 ○	○	○	○	—	—	—	—

※1.接続する機器、その数、インターコム会話の距離、使用される環境によって変動します。また10Cのカメラ機能をお使いの場合、大幅に短くなります。 ※2.Bluetoothには電波の指向性があります。電波に影響をあたえる環境、遮蔽物の有無、マルチ接続会話人数、また、機器のバッテリー状況で通話距離、通信可能時間は大きく変動し、市街地では数百mぐらいの通信距離になることもあります。また20Sをお使いの場合、タンデム以外のご使用ではHDインターコム機能はオフにしてお使いください。 ※3.ジョグダイヤルを押して会話相手を切り替える1:1通話人数(自分を含まない)です。 ※4.他社のインターコムとペアリング、通話する機能です。 ※5.インカム通話中にバックグラウンドで音楽、ナビ音声聞こえる機能です。 ※6.2台のインカムで音楽共有する機能です。20Sのミュージックシェア機能はSMH3、5シリーズとの互換性はありません。 ※7.2台のスマホとペアリング接続する機能です。20Sは、2台目の機器とHFP&A2DPで接続、その他の機種はHFPのみで接続します。 ※8.インカムに電話番号を登録し、ボタンタッチで電話をかける機能です。 ※9.インカムに話しかけ、各種操作を命令する機能です。 ※10.インカム同士をタッチしてペアリング、スマホとインカムでペアリングする機能です。 ※11.別途ハンドルバーリモコン、またはリストバンドリモコンが必要となります。(10Uにはハンドルバーリモコン同梱) ※12.インカムをタップして、ボイスコマンドを起動します。 ※13.Sena Utilityアプリを使って、インカムの各種設定、グループ通話設定(設定内容は機器の機能により異なります)。 ※14.ヘルメット内蔵型ですが、本体自体は防水仕様ではありません。

お使いのインカムをほとんど便利につかいこなす！
Sena Bluetooth アダプター

					
		SPH10	BT10	PRISM TUBE	PRISM 未定
基本スペック	ver 3.0	ver 3.0	—	ver 4.0	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	8 時間	6 時間	—	2 時間	
	7 日間	6 日間	—	2 日間	
	900m	350m	—	100m	
インカム機能	4 人	4 人	—	—	
	3 人	3 人	—	—	
	○	○	—	—	
	—	—	—	—	
	○	○	—	—	
HFP・A2DP機能	—	—	—	—	
	○	○	—	—	
	○	○	—	—	
	○	○	—	—	
カメラ機能	—	—	○	○	
	—	—	—	○	
	—	—	—	○	
	—	—	—	○	
	—	—	—	○	
	—	—	—	○	
その他の機能	○	○	○	○	
	—	—	—	—	
	—	—	—	—	
	—	—	—	○	
	—	—	—	—	
	—	—	—	○	

				
		SR10	SM10	GP10
基本スペック	Bluetooth	ver 2.1	ver 2.1	ver 3.0
	連続使用時間	12 時間	8 時間	3 時間
	待ち受け時間	10 日間	3 日間	3 日間
	HFP 対応	○	—	○
	A2DP 対応	—	○	—
	インターコムプロファイル対応	—	—	○
	Bluetooth 通信距離	※1 10m	10m	100m
対応機器	ナビ (HFP/A2DP)	○	○	—
	GPS レーダー	○	○	—
	オーディオ	△	○	—
	GpPro® (3,3+,4)	—	—	○
	無線機器	○	—	—
	携帯電話と HFP 接続	○	—	—
その他の機能	全天候対応	○	○	○
	AUX 外部端子	2	2	—
	無線機器用ケーブル端子	○	—	—
	PTT ボタン	○	—	—

※1.相手側機器のBluetoothスペックに依存します。

(ご注意)
※ 上記のモデル別機能一覧は、2016年2月20日現在の内容になります。
※ 製品仕様・価格は、2016年2月20日現在の内容になります。断りなく変更される場合がございます。
※ 最新の内容は、セナブルトゥースジャパン(SBJ)公式ホームページをご覧ください。